

二〇二三年六月二日(参加者九名)

花菖蒲紫白伯仲する池塘	もとこ
神の池眺む茶店へ青葉風	もとこ
昼暗き深山の道に山法師	もとこ
玉砂利に刎ねて眩しき夏日かな	もとこ
睡蓮の浄土に鷺の身じろがず	もとこ
神奈備の樹下のベンチの風涼し	わかば
緑陰にひびく禊の祝詞かな	わかば
重文の鐘祀られし青葉影	わかば
園児らの打つ手に群がり来る緋鯉	わかば
老松の大樹裳裾に苔の花	わかば
林立すマンション群や浜薄暑	うつぎ
浜涼しジェットスキーの沖に舞ひ	うつぎ
池涼し突然鯉の大ジャンプ	うつぎ
ジェットスキー湾いつばいに水脈ひろげ	うつぎ

矢のごく馳す黄金の鯉涼し	あひる
緑陰の巨岩にをどる日の斑かな	あひる
波を蹴るジェットスキーや雲の峰	小袖
満開の白粉花に水難碑	小袖
U F Oのごとき砲台岬涼し	こすもす
神池の水鏡うつ塩とんぼ	よう子

定例会会みのる選

二〇二三年六月二日(参加者九名)